

吉敷地区防災会図上訓練資料

令和元年 9 月 2 1 日

吉敷地域交流センター
～ 良城小学校

訓 練 次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 主要事項

(1) 実施要領の説明

(2) 学校内案内

(3) レイアウト グループワーク

(4) 成果発表

4 その他

連絡事項等

5 閉 会

資 料 目 次

- ・ 令和元年度避難所図上訓練の大綱..... P - 1
- ・ 避難所レイアウト訓練の参考..... P - 3
- ・ 避難所に配慮したい項目..... P - 6
- ・ レイアウトの例..... P - 7
- ・ 良城小学校校舎配置図..... P - 9

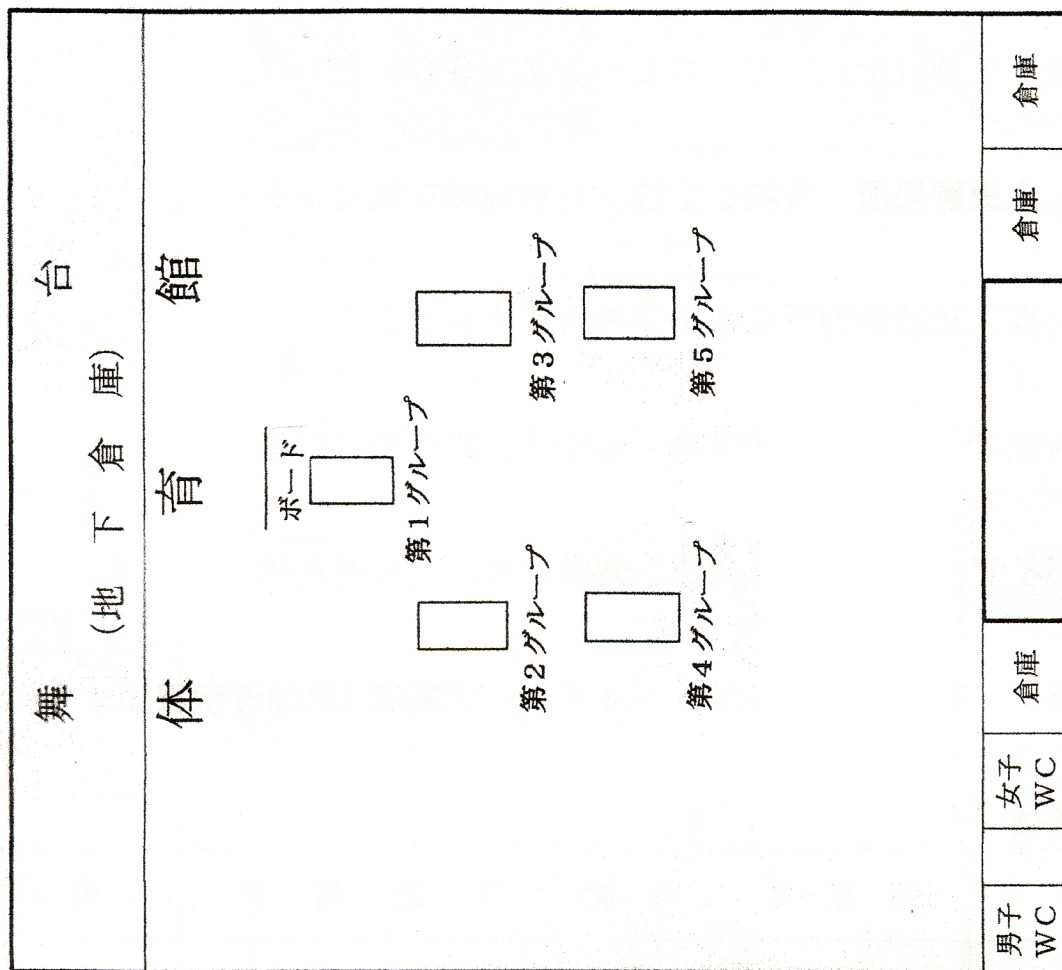
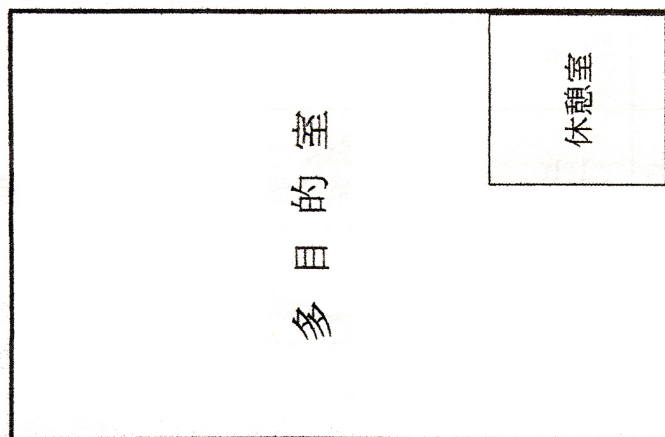
令和元年度避難所図上訓練の大綱

- 1 時期 9月21日(土) 14:30～17:30
- 2 場所 第二次避難場所 良城小学校・吉敷地域交流センター
- 3 実施事項 第二次避難場所良城小学校全般のレイアウト
- 4 訓練参加対象者 吉敷地区防災会 防災連絡員、班長及び班員
- 5 訓練アドバイザー：会長、副会長、運営委員、各部長等
- 6 グループ編成 参加者をもって5～4グループ編成(参加者状況により編成)
- 7 訓練実施要領

連番	実施事項	実施者	時間	実施場所	備考
1	開始の言葉	吉敷防災会長	5	吉敷地域交流センター	「立入禁止室」 校長室，職員室， 事務室，放送室， 休憩室，機械室， 給食室，教室， 相談室，視聴覚 室，印刷室， 教材室等
2	実施要領の説明	本部長	15	同上	
3	現地案内	良城小学校 運営委員	1h	良城小学校 避難者使用可能室等	
4	レイアウト グループワーク	訓練参加者	1h	良城小学校 (吉敷地域交流センター)	
5	成果発表	グループ代表者	30	同上	
6	総括	本部長	10	同上	

注：駐車場は旧吉敷地域交流センター跡地

主 住 居 ス ペ ー ス



避難所レイアウト訓練の参考

1 避難所レイアウトの基本

- (1) 施設の運営を妨げないレイアウト
- (2) 各種施設の活用
- (3) 要援護者施設を優先配置

2 レイアウト作業の基本

- (1) プライバシー保護、男女更衣室の設置
- (2) 各施設配置は通路確保から
- (3) 女性及び子供専用スペースの配慮
- (4) 一般教室、事務室、理科室等の除外

3 主要個別スペースの確保

- (1) 避難所運営本部
- (2) 物資管理スペース
- (3) 救護室等

4 屋外スペースの留意箇所

- ・ ペット飼育場
- ・ ごみ集積場
- ・ 仮設トイレ (男女別)
- ・ 仮設入浴場
- ・ 洗濯、物干場
- ・ 喫煙場所等

5 避難所としての施設利用

避難所運営を円滑に行うために、避難所運営用、救援活動用、避難生活用等のために必要なスペースを施設の内外に確保します。

施設の利用例を次表に示しますが、小規模施設又は小規模災害時においては、必ずしもこれらすべてのスペースを確保する必要はなく、兼用したり、最寄りの避難所との間で相互に補完したりすることも考慮します。

なお、学校施設が避難所となっている場合は、学校の再開を考慮しながら、教室、保健室、事務室等の利用を行います。

< 避難所施設の利用例 >

区分		設置場所等
避難所	避難者の受付窓口	・ 正面玄関近くにテーブル、椅子等を配置する。
	避難所本部室	・ 正面玄関近くに、受付とともに設ける。 ・ 部屋が確保できない場合は、長机等で囲って事務スペースを設け、重要品等は別室で保管する。

運 営 用	広報場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正面玄関近くに、受付とともに設ける。 ・ 避難者や在宅被災者に市災害対策本部等からの情報を伝えるための「広報掲示板」と避難所運営用の「伝言板」を分けて壁面等を利用して設置する。
	会議場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本部室や談話室等に、避難所運営組織等のミーティングが行える場所を確保する。
	仮眠室 (避難所運営者用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本部室や仮設テント等に、スタッフ用の仮眠所を確保する。
救 援 活 動 用	救護室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負傷した人や体調が悪い人に対して応急の医療活動ができるスペースを確保する。 ・ 可能であれば施設の医務室等を利用する。
	育児室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就寝場所から離れた場所に確保する。 ・ 乳児の泣き声などによる保護者の心理的なストレスを和らげるとともに、避難者の安眠に配慮する。
	食糧・物資の保管室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資等を収納し管理する場所を確保する。 ・ 食糧は、直射日光の当たらない冷暗所に保管する。
	物資等の配付場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物資や食糧を配付する場所を設ける。天候に左右されないよう、屋根のある広い場所を確保するか、又は屋外にテントを張ることが考えられる。
	特設公衆電話の設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初は、屋根のある屋外など、在宅被災者も利用できる場所に設置する。
避 難 所 生 活 用	更衣室(兼授乳場所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少なくとも女性用更衣室は、授乳場所も兼ねるため、速やかに個室を確保する。(又は仕切りを設ける。)
	福祉避難室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日当たりや換気がよく、静穏が保てる場所で、トイレや救護室に近い部屋を確保する。
	相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人のプライバシーを確保できる場所(個室)に設ける。
	談話室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共用の多目的スペースとして設ける。 ・ 当初はイス、テレビ等を置いたコーナーをもうけることで代用してもよい。 ・ 消灯後も利用できるものとし、居住スペースからは離れた場所にする。
	調理場(電気調理器具用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力が復旧した後に、湯沸かしポット、オーブントースター等を設置するコーナーを設ける。 ・ 電気容量に注意が必要。
	遊び場・学習場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼間は子どもたちの遊び場として、夜間は学習場所として使用する。 ・ 就寝場所からは少し離れ場所に設置する。

屋外	仮設トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、屋外に男女別に分けて設置する。 ・設置場所は、就寝場所に臭いが届かない、し尿収集車が進入しやすい、高齢者等が行きやすい、夜間の照明が確保できる等の条件を考慮して決定する。
	ゴミ集積場	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、屋外で、ゴミ収集車が進入しやすい場所に設置する。また、分別収集に対応できるスペースを確保する。 ・就寝場所に臭いが届かない場所が望ましい。
	喫煙場所	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、屋外で、避難所内に副流煙が流れ込まない場所とする。
	物資等の搬入場所	<ul style="list-style-type: none"> ・トラック等の車両が進入しやすい場所に設ける。 ・物資等の配付場所に近いスペースが望ましい。
	炊事・炊き出し場	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生状態が安定した後に、避難者が自ら炊事、炊き出しができる仮設設備を屋外に設置する。
	仮設風呂・シャワー、洗濯・物干場	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として屋外で、排水の確保ができる場所とする。 ・個人のプライバシーが確保できる場所が望ましい。
	駐車・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、自動車・自動二輪車・自転車の乗り入れは禁止する。ただし、他の用途に支障がない場合に限定して、応急的に一時的な使用を認めることができるものとする。
	ペット飼育場所	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、屋外にスペースを設け、飼育する。 ・できるだけ就寝場所から離れた場所が望ましい。

緊急避難場所や避難所において配慮したい主な項目

区 分	配 慮 の 例
女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の視線が気にならないような更衣室、授乳室などを用意しましょう。 ・ 避難生活では、下着等の洗濯物など外から見えない干し場の確保に努めましょう。 ・ 性犯罪に巻き込まれないようトイレに防犯ブザーを設置するなど配慮しましょう。 ・ トイレに汚物入れを設置しましょう。
妊産婦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視線を気にせず横になれる場所の確保に努めましょう。 ・ 防音や衛生面での思いやりや心配りに配慮しましょう。 ・ 洋式トイレの確保に努めましょう。
乳幼児、児童	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギーの有無について確認しましょう。 ・ おむつ替えや授乳のできるスペースを確保しましょう。 ・ 夜泣き、不眠等に留意し、別室を用意するなど配慮しましょう。 ・ 乳児に対して、ミルク用の湯、哺乳瓶の清潔、沐浴の手だて、紙おむつ、ベビーベッドの確保に努めましょう。 ・ こどもたちが遊べる場所など、居場所づくりに努めましょう。
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難生活では、旧そくに活動力が低下し、寝たきり状態になりやすいので、健康状態に十分配慮するとともに、可能な限り運動できる時間やスペースを確保しましょう。 ・ トイレに近い場所に避難スペースを設けましょう。 ・ おむつを使用している方には、おむつ交換の場所を別に設けましょう。
要介護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護が必要な人に対して、ホームヘルパー等を要請しましょう。
認知症高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりと落ち着いた口調で声をかけましょう。 ・ トイレの位置がわかるように、大きな表示をしましょう。 ・ 徘徊の症状がある場合には、周囲の人にも声をかけてもらうよう頼んでおきましょう。
視覚障害者	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ入り口に近い場所を確保するなど、移動がすくなくとも済むようにしましょう。 ・ 拡声器や拡大文字による情報の提供に努めましょう。 ・ トイレ等への移動が楽に行えるよう、順路にロープ等を張るなど配慮しましょう。 ・ 目の前の情報提供のために、周りで起きていることを伝えてください。 ・ 壁際等の安全なところに誘導してください。
聴覚障害者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声による連絡は、必ず文字でも掲示し、見える化しましょう。また、必要に応じて手話通訳のできる人に協力を求めましょう。

レイアウト例 (学校等、仕切りが多い施設)

部屋数の多さを利用し、男女のプライバシー・要配慮者等に配慮しながら、長期化する避難所生活の安心感を高める工夫をしましょう。

注) 余震や大雨が懸念されている場合など、状況を判断しながら準備を行います。
10名程度を目安に、住民(避難者)と各レイアウトづくりを行います。

POINT これだけはチェックM!!

レイアウトを作成する際、以下の点に留意しましょう。

□ 施設の運営を妨げないレイアウトを!
例えば学校の避難所の場合、一般教室や職員室等、学校の運営や授業の妨げを極力避けて、学校・避難者ともに互いの少ないレイアウトを施設管理者とともに考えましょう。

□ さまざまな部屋を活用!
学校を体や区切られた部屋が多い施設を避難所とする場合、部室の数や閉鎖等々を利用してレイアウトを考えましょう。また、施設本来が持つ機能や運営を妨げないよう、配慮しましょう。

□ 要配慮者は優先的に
冷房房や炊き出し、調理場等が、避難所には、要配慮者スペースとして優先的に使用しましょう。

□ 女性のリーダーを!
女性専用の物資や女性特有の困り事など、女性の総合窓口となるリーダーを決めましょう。

□ 朝礼や定期的な声掛けを!
避難所生活において、避難者は避難生活を送ります。定期的に声掛けにより、避難生活を送るなど、コミュニケーションを大切にしましょう。

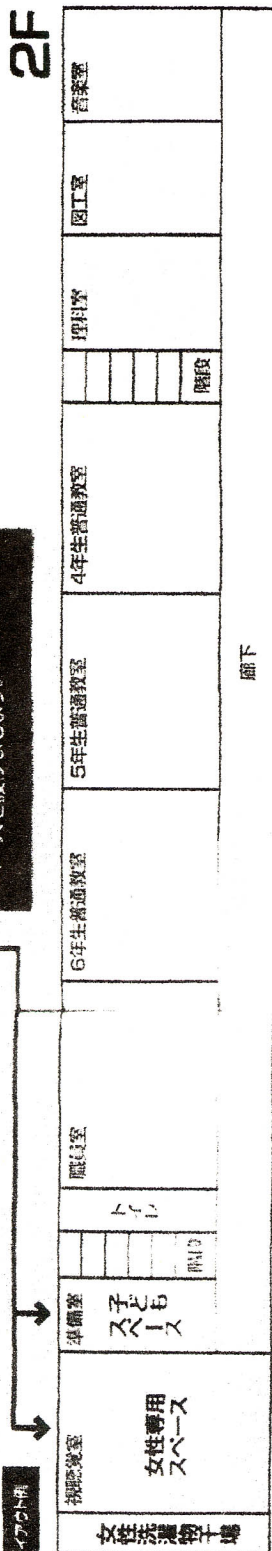
□ 男女の役割を均等に!
食事を作る、掃除をするのは女性にとらえていませうか、避難所では誰もが平等です。力が及ばず役割を持ちましょう。

□ DV被害者の情報に注意!
避難所生活で、過去にDVにあった被害者が再び加害者と会う等が考えられますので、情報公開には注意しましょう。

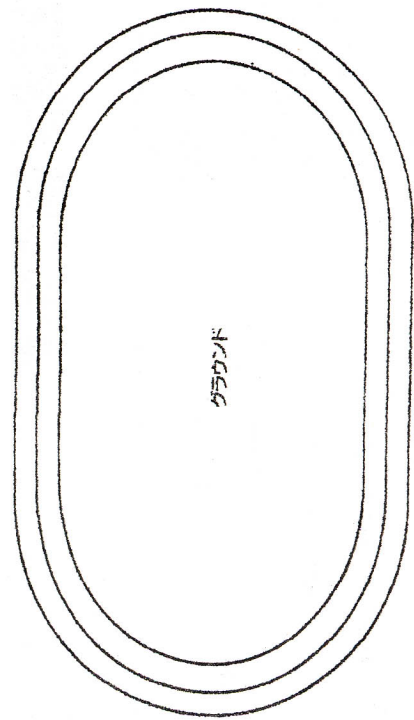
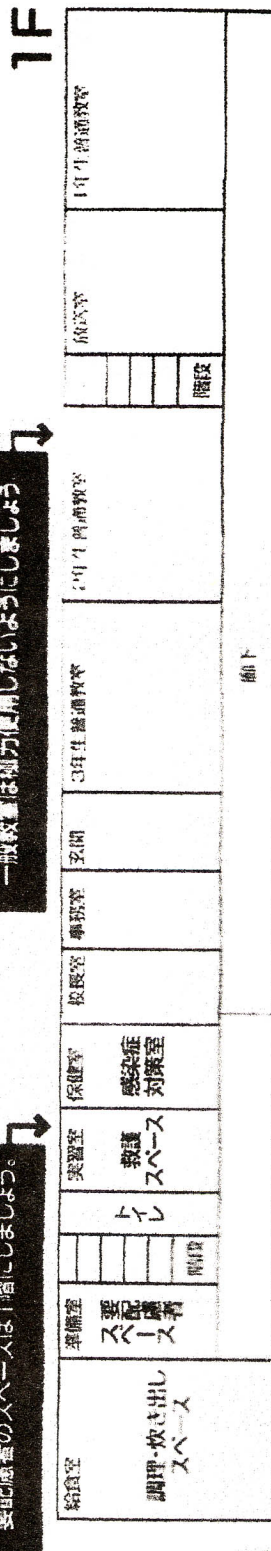
学校を避難所とする際の注意点

- 共同で使用可能な屋内運動場(体育館)や武道館、視聴覚室等を活用しましょう。
- 図書や施設本来の運営再開を妨げないよう、一般教室や職員室、事務室等は、優先的に使用しないようにしましょう。
- 備品がある理科室や工員がある図工室等は、優先的に使用しないようにしましょう。

女性専用スペースや子どものスペースを設けましょう。



一般教室は優先的に使用しないようにしましょう。



防府市避難所運営マニュアル

レイアウト例 (体育館等、仕切りが少ない施設)

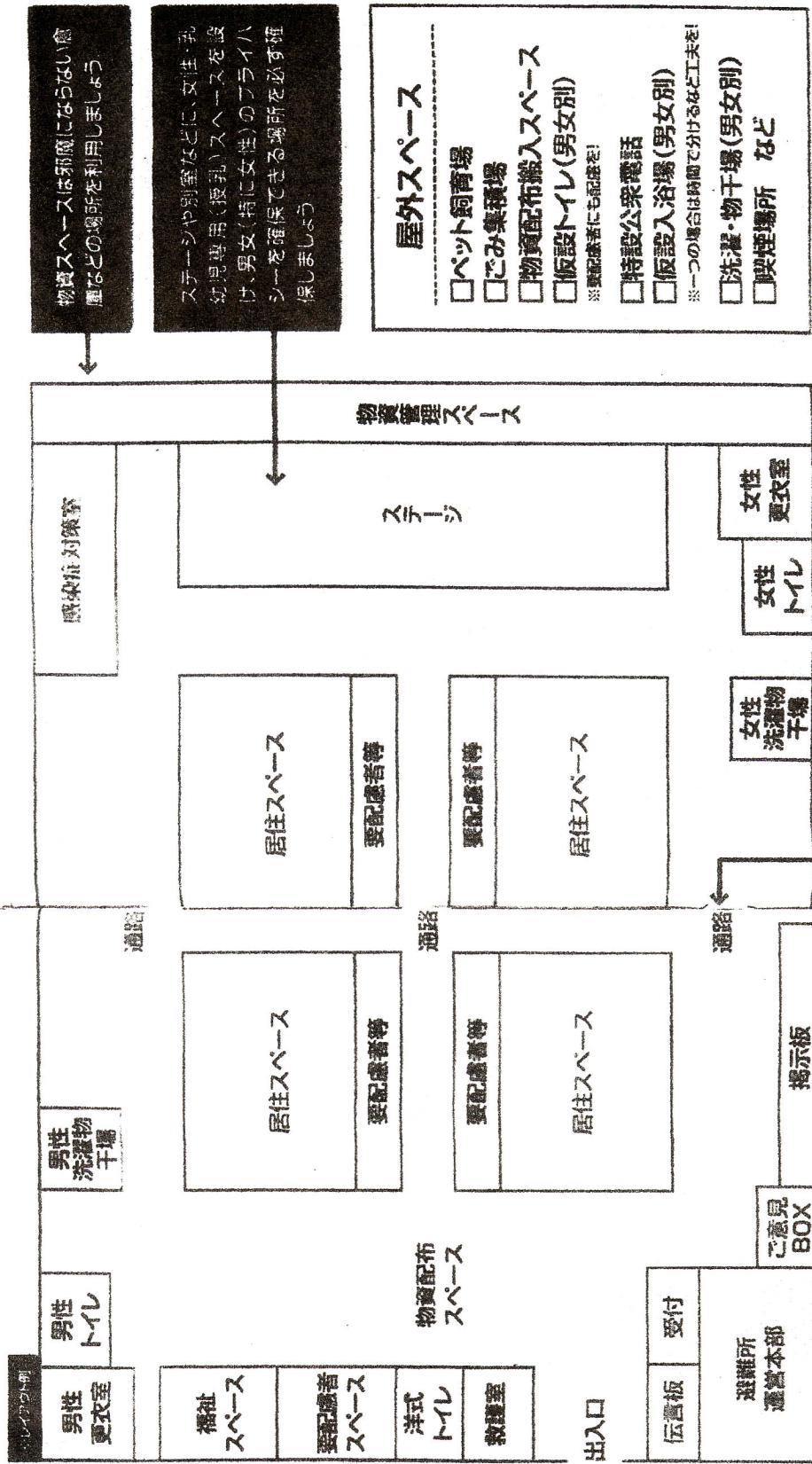
個室が確保できない体育館等の場合は、障子や間仕切りパーテーション等を活用し、男女のプライバシー・要配慮者等に配慮しながら、長期化する避難所生活の安心感を高める工夫をしましょう。

注) 余震や大雨が続いている場合など、状況判断しながら準備を行います。
10名程度を単位に、健康(避難者)とも協力しながらレイアウトづくりを行います。

POINT これだけは
チェック!!

レイアウトを作る際、下2点の事項を
確認しましょう。

- 居住スペースづくりは
まず通路の確保から!
避難所の居住スペースづくりですばやく
行うことは、通路の確保です。すばやく
行動を起こせるよう、通路に物を置かない
等、広めに取ります。
- 居住スペースは
知り合い同士で!
みんなのストレスを軽減するために、家
族、知人、地区ごとに分けましょう。
- 女性のリーダーを!
女性専用の物資や女性特有の困り事など、女
性の緊急窓口となるリーダーを決めましょう。
- 障子や定期的な声掛けを!
避難所生活において、避難者は避難所の生活を送
ります。定期的に声を掛けたり、簡単なゲームをし
たりするなど、コミュニケーションを大切にしましょう。
- 男女の役割を均等に!
「食事を準備するのは女性」と思っ
ていませんか。避難所では誰もが平等で
います。男女問わず役割を持ちましょう。
- DV被害者の情報に注意!
避難所生活で、過去にDVにあった被害者
が再び加害者と会う者が考えられますの
で、情報公開には注意しましょう。
- ペット飼育場、ごみ集積場を!
衛生環境に配慮し、屋外にペット飼育場や
ごみ集積場を確保し、それぞれルールを
作る等、管理しましょう。



個別でスペースを確保することが望ましいもの

- 避難所運営委員会本部
- 物資管理スペース
- 炊事室
- インフルエンザ(感染症)対策室
- 体調不良者用休憩スペース (完結・休・下痢など)
- 感染対策室
- 福祉スペース
- 子ども、親子で安心して遊べる部屋
- 災害時に設置される固定電話設置場所

福祉スペースに必要なもの
発電機、燃料/懐中電灯/照明
器具/避難用具/介護、育児用品
資(紙おむつ、粉ミルクなど)/
その他(漂白剤、パーテーション
など)/おかゆ、水などの食料

物資スペースは邪魔にならない
庫などの場所を利用しましょう

ステージや別室などに、女性・乳
幼児専用(授乳)スペースを設
け、男女(特に女性)のプライバ
シーを確保できる場所を必ず確
保しましょう

屋外スペース

- ペット飼育場
- ごみ集積場
- 物資配布スペース
- 仮設トイレ(男女別)
※要配慮者にも配慮を!
- 特設公衆電話
- 仮設入浴場(男女別)
※一つの場合は時間で行けるなど工夫を!
- 洗濯・物干場(男女別)
- 喫煙場所 など

掲示板を活用し、要配慮者
にも配慮して情報提供や
ルールを共有しましょう。

避難所での意見を反映させる
意見箱を設置し、より迅速な建
議所生活を目標にしましょう。

通路はすべての移動経路とな
るため、必ず確保し、通路に物
を置かないようにしましょう

プライバシー保護のため、男女更衣室を別々に設
置し、女性更衣室は離れた位置や女性専用スヘ
スの近くに設置しましょう